

木橋梁巡礼 4

A さん、B さん、C さん

10.....ツ橋

A [今日は一つ橋から雉子橋を通つて、飯田町驛下の新三崎橋まで行きませう。ではお初め下さい。]

C [別に大して云ふこともないやうですね。]

B [いやあるよ。一體この橋は何も調子を合せたんだらう。]

C [このお堀や平川門に合せたつもりなんです。]

C [ここで、そのお堀の石垣や平川門とも調和はされてるないね。]

C [反対側の如水會館は又ちよん髷に洋服見たいな差だし。]

B [如水會館はふき出した位不調だね。そして又今度修繕した如水會館は誰様の設計が知らぬが思ひ切つたもんぢやないか。]

A [いや不味のは賛成だが、さうも脇道にそれそうだ。今日は橋だけだよ。]

B [おつこ承知之助。この橋は拙いものではないがしかし落付きがないね。]

C [うつべらなやうですね。]

A [薄つべらさまでは云へないが、あんまり角張りすぎてゐるんでせう。またセセッション式が日本人のあたりに後生大事に

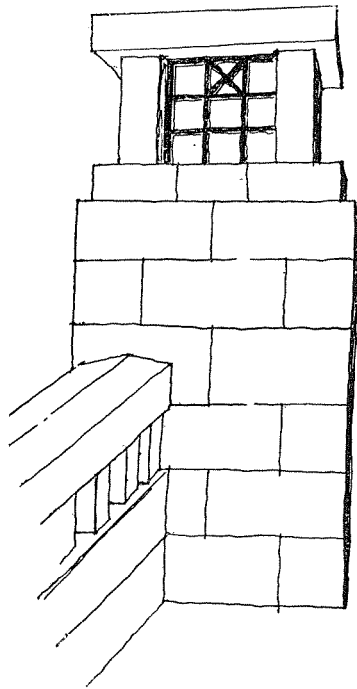
しまつてある譯だね。堀の石垣のやうな圓みがほしい。あのまつりした、そしてあの内にある暖か味だね。しかしあの平川門の修繕は念人に不味いもんだね。]

B [おつこ此度は君が脱線したぞ。]

A [いやこいつはうかつ千萬。]

三人笑ふ。

C [大きな親柱を欄干との間に付けたのはさうですかね。]



一つ橋

A [うん、そのために落ちつきを失つたもんだね。]

B [こんなに幅の広い場合には一層悪い。]

C [石の欄干はいゝぢやありませんか。]

B [部分的に見ていゝです。]

A [しかし、此の場合では例の親柱と共にいい結果にはならないと思ふね。親柱を兩端を持つて來てこの石の欄干はいゝが一。]

C [こゝでは反つて落付かなくなつたんだね。]

11.....雉子橋

A [次は雉子橋。]

C [これは一つ橋より大分日本趣味が入つてますね。]

B [思ひつきだが、この親柱はでかいね。そ